

12/21



市内郵便局と災害発生時における協定を締結!

市内の郵便局と「災害発生時における協力に関する協定」を締結しました。市と郵便局においては、阪神淡路大震災後の平成10年にも災害協力に関する覚書を交わしていましたが、東日本大震災の状況を踏まえ、緊急車両の提供など更なる支援の強化を図り、大規模災害時に迅速に対応できるよう改めて協定を締結しました。

12/25



**宜野湾市の教育委員に
我謝修氏が就任!**

宜野湾市議会12月定例会において、我謝修氏の教育委員会委員の任命が同意され、新たに同氏が教育委員に就任しました。我謝氏は平成23年3月まで県立名護商工高等学校の校長を務め、平成22年11月には御下賜金記念産業教育功労者表彰を受賞されています。

市政フラッシュ

拡大版

12/25



交通事故0を目指して

市役所玄関前において、市交通指導員の皆さんによる年末年始の交通安全県民運動が行われました。この運動は、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的としているもので、「飲酒運転根絶」のプラカードを持った交通指導員の皆さんが、通行する車両や歩行者に交通安全を呼びかけました。

1/12

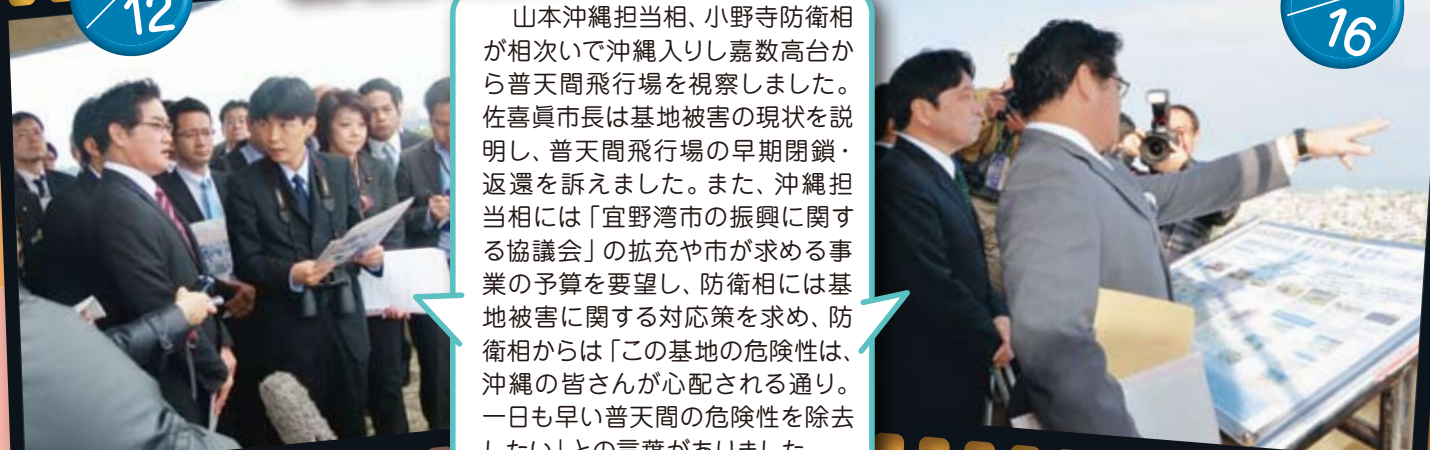


**キングスの試合で
「美らがんじゅう体操」を披露!**

市保健相談センターの「ちょっと待って!メタボリック気をつけ隊」が、市立体育館で行われたbjリーグ・琉球ゴールデンキングスの試合のハーフタイムで、宜野湾市オリジナル健康体操「美らがんじゅう体操」を披露しました。満員の会場の中、一緒に体操を踊ってくれたお客さんも多く、会場の雰囲気も大いに盛り上がりしました。

1/12

新内閣の閣僚へ基地被害の現状を直訴!



山本沖縄担当相、小野寺防衛相が相次いで沖縄入りし嘉数高台から普天間飛行場を視察しました。佐喜眞市長は基地被害の現状を説明し、普天間飛行場の早期閉鎖・返還を訴えました。また、沖縄担当相には「宜野湾市の振興に関する協議会」の拡充や市が求める事業の予算を要望し、防衛相には基地被害に関する対応策を求め、防衛相からは「この基地の危険性は、沖縄の皆さんが心配される通り。一日も早い普天間の危険性を除去したい」との言葉がありました。

1/16

1/17



平成26年1月完成予定!
真志喜中の屋内運動場・武道場

真志喜中学校において屋内運動場・武道場増改築安全祈願祭が行われました。真志喜中学校の屋内運動場は建築から32年の経過に伴い老朽化が著しく、改築を行います。さらに、平成24年度からの中学武道の必修化に伴い、新たに武道場が必要であるため、屋内運動場の改築と併せて武道場を整備し、教育環境の充実を図っていきます。



1/21



教育環境の整備・充実に向けて

市長とPTAや地域の方々が教育施策の充実を図ることを目的として話し合うスタディーミーティングが、はごろも学習センターにおいて開催されました。参加された各校PTA会長や校長より、通学路の整備や給食の無料化、2学期制の今後についてなど多くの質問・要望が出され、将来を担う子どもたちのために真剣に話し合われました。

1/21

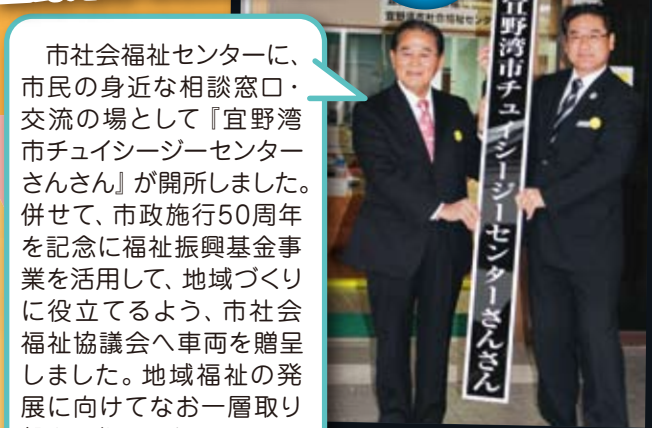


障がい福祉団体の活動の成果を紹介

1月21日(月)から25日(金)にかけて第10回「地域でがんばる仲間たち」パネル展(主催:障がい福祉課)が市役所1階ロビーで開催され、期間中は多くの方が来場され、ふれあいの場を持つことにより、障がい福祉への理解が深められました。

**『さんさん』と光り輝く
宜野湾市を目指して!!**

1/23



市社会福祉センターに、市民の身近な相談窓口・交流の場として『宜野湾市チュイシーセンターさんさん』が開所しました。併せて、市政施行50周年を記念に福祉振興基金事業を活用して、地域づくりに役立てるよう、市社会福祉協議会へ車両を贈呈しました。地域福祉の発展に向けてなお一層取り組んで参ります。

1/23



**『ぎのわんの地名 内陸部編』に
沖縄タイムス出版文化賞・特別賞!**

市の教育委員会文化課が編集した、戦前の宜野湾の地名を紹介した「ぎのわんの地名 内陸部編」が第33回沖縄タイムス出版文化賞の特別賞を受賞。佐喜眞市長へ授賞を報告した宮城教育長は「今回の受賞を励みに、これからも市の歴史・文化遺産の継承と活用に努めていきたい」と受賞の喜びを語りました。

